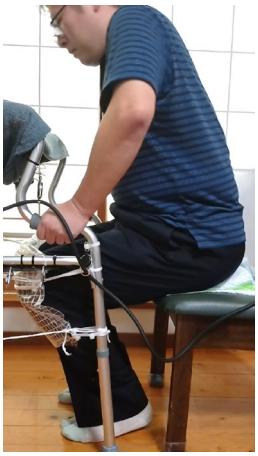
福祉機器コンテスト2026
受賞作品紹介（学生部門）

優秀賞
学生部門

アイと空気の楽チン立ち上がり歩行器

大阪府八尾市立高安小中学校　6年　名村 航一 氏

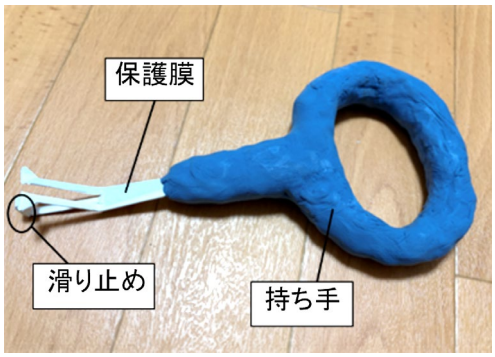


合気道の介護方法（膝を支えてあげる）と工業用薄型エアージャッキでお尻をあげて膝を前にし、ビニールの幕を張って、膝を支えることで、1 人で立てたり、介護の方が支えるだけで、立ったり車いすなどに移乗してもらえる。
薄型エアージャッキにポータブル空気入れを組み合わせたり、一連の仕組みで実用新案を提出しました。

優秀賞
学生部門

電池出し入れらくらくハンド

東京都立大学 システムデザイン学部 機械システム工学科　幸田 智花 氏　飯髙 菜月 氏



現代社会では、福祉機器を含め、電池を使用する機器が多く使われており、我々の日常生活を支えている。しかし、手指機能が低下した障害者にとって、指先の細かい動きが必要とされる電池交換の動作は困難となる。
本作品は、こうした課題を解決するために開発した手指機能障害者対応乾電池交換補助具である。持ち手部分は安全性が高く軽い樹脂粘土を採用し、重量45gの軽量設計とした。最大の特徴は、あまり力がなくても乾電池を簡単に出し入れできる機構と、多様な手の状態に対応した形状で握りやすく抜けにくい持ち手である。大学の授業で学んだ、筋緊張でも”手が開いた状態””強く握った状態”など、人によって手指の状態は様々であることを踏まえ、幅広い利用者を想定した。
これにより、より多くの障害者が電池交換を自力で行えるようになり、日常生活の自立支援とQOLの向上を期待する。また、同時に介助者の負担軽減も期待したい。

主　　催　一般社団法人日本リハビリテーション工学協会
後　　援　厚生労働省　経済産業省　公益財団法人テクノエイド協会　公益社団法人日本理学療法士協会　公益社団法人日本生体医工学会
公益社団法人日本義肢装具士協会　公益社団法人計測自動制御学会　一般社団法人日本作業療法士協会
一般社団法人日本義肢装具学会　一般社団法人日本車椅子シーティング協会　一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
一般社団法人日本生活支援工学会　一般社団法人日本福祉のまちづくり学会　一般社団法人日本人間工学会
特別協賛　フランスベッド株式会社
協　　賛　株式会社 ケープ　　株式会社フロンティア

福祉機器コンテスト2026
受賞作品紹介（機器開発部門）

楽器&ライフアシスト アームワンダAIR

最優秀賞
機器開発部門

OGIMOテック開発室　廣瀬 元紀 氏

「その子の得意を、動きに変える。」
　アームワンダAIRは、肢体不自由のある子どもが、スイッチや視線など"自分の得意な操作手段"を使い、自分だけの力で「押す」「振る」「引っ張る」などの物理アクションを行える日常支援用の簡易ロボアームです。
　子ども達・支援者のアイデアと実践で、楽器演奏・スポーツ・生活支援・遊び・イベントなど100種類以上の活用事例が生まれています。無線通信機能により、福祉スイッチ・視線操作・動き連動入力・スマホアプリなど多様な入力に対応、各種アプリとの直接連携も進め、その子の得意な操作方法をシンプルな接続で試せます。機器設置・設定もかんたんで、専用アプリで調整もでき、機械が苦手な支援者も導入できます。介助者による「神の手」ではなく、子ども達が「自分の力だけでできる」小さな成功体験を積み重ねられる環境を、日常に届けます。

フォーケア ツインピース 姿勢保持クッション

優秀賞
機器開発部門

山形 茂生 氏　松尾 清美 氏　傳明地 洋基 氏　田中 晃一 氏

　本製品は、2つの独立した膨らみ部とそれらを繋ぐ連結帯部で構成された、汎用性の高い姿勢保持クッションです。腰や臀部を三方から包み込み、体幹の圧力を分散して身体への負担を軽減します。車椅子利用者や座位での長時間の事務作業や自動車運転、産後の骨盤ケアなど、安楽な座位保持を求める方に最適です。
　最大の特徴は、独立した膨らみ部の中材パーツ（ピース）は抜き差し可能で、体格や椅子に合わせて「支え具合」を調節できる点です。左右非対称なサポートや別売ピースによるホールド力の強化も容易に行えます。帯部は中材帯ピースを折り畳み帯部に挿入すれば、前ズレ防止の「アンカーサポート」や側弯症への「局所支持」などの臨床的課題に対応します。
　また、衛生面にも配慮し、外カバーや中材は全て家庭で洗濯可能と何より清潔を保ち施設から在宅まで幅広く活用できます。2個併用すると大腿部と腰部を同時にホールドし、より高い安定感を実現できます。

カート&カート

優秀賞
機器開発部門

直原　省三 氏

買い物をする方はキャリーバッグを引いて出かけ、店舗の入り口に付近にキャリーバッグを置いてから店内の買い物カートで買い物をするか、二台を引いて買い物をしています。
その労力を考慮し、一台で二役の機器を作ればよいと思いました。